

匠の街春日部かわら版

発行 備コーワ
編集室: 工房えびはら

「パスポートのいかない麗しの南イタリアへようこそ」のチラシが気になる埼玉県の最北端に位置し、児玉郡に属する上里町をぶらりしてきます。

上里町は、広さ南北5.5キロメートル、東西6キロメートル、総面積約29.18平方キロメートルで、東京から85キロメートル圏内に位置しています。

神流川、烏川を挟み、群馬県と県境にあり、北の玄関口と言われます。山間地がなく、町内全域平地です。古くは、二国街道の起点となる交通の要所でもありました。神流川の水质は四国の四方十川にも匹敵する清流として知られています。

「ぶらり散歩」-48- 上里カンターレ 周辺

町の東西を上越新幹線、関越自動車道が走り、北西部には上里サービスエリア、上里スマートインターチェンジがあります。上里サービスエリア周辺では、上毛三山(赤城山・榛名山・妙義山)と浅間山が眺められる景勝地でもあります。

昭和28年〜31年に、昭和の大合併がありました。戦後の新憲法のもと地方自治の確立を目指して、消防や社会福祉、保健衛生などの事業が住民に最も身近なものとなるよう整備



備するため、国の主導による全国一斉に行われました。その時、七本木村、神保原村、長幡村、賀美村の4つの村が合併し上里村となりました。埼玉県内で一番上(北)に位置している「田舎な農村」であることが、簡単に書き易いことなどから昭和29年に上里村と名づけられました。169人の人口が記録されていますが、昭和46年に村から町となり人口も倍に現在に至っています。

町の中心には、JR高崎線神保原駅があり、その利便性から急速な都市化が進み、今ではベッドタウン化して大型店舗などが進出しています。このぶらり散歩は、上里サービスエリア周辺の「このはなパーク上里」です。上里スマートインターチェンジから所要時間1時間程度で到着します。関越自動車道「上里スマートIC」すぐの好立地に、「美味しい」が集まる上里町の中心的な観光拠点が広がります。上里産新鮮農作物が購入できるフードコート併設型農作物直売所「アグリパーク上里」、南イタリアをモチーフにした大型洋菓子店「上里カンターレ」、多品種のいちじく狩りが楽しめる観光農園「上里いちじく&トマト園」、健康がテーマの和菓子店「健康工房上里」などで「創業100年を迎えた中央軒煎餅の工場直売店」の幅広い「美味」を年間約100万人が訪れます。

「このはなパーク上里」の中心は、パスポートのいかない麗しの南イタリアです。畑と田舎の中にある



「上里カンターレ」
広々とした店内は、バーカウンターや焼き菓子などのバラエティ豊かなスイーツが並び、お菓子のアウトレックコーナーの値段にはびっくりです。



併設されているイタリアンレストランは、土日祝日メニュー食へ放題(税込2000円・シニア1000円)です。大人気でした。順番待ち90分の予約は諦めました。



店内には、「真実の口」の大きなブリカもありました。「真実の口」は、イタリアのローマにあるサンタ・マリア・イン・コスメディン教会の外壁に設置された、ポセイドンの顔が刻まれた円盤状の石像です。映画「ローマの休日」で世界的に有名になり、嘘つきが手を入れると手を噛みちぎられるという伝説があります。「真実の口」のフォトスポットがあり、ドキドキしながらの写真撮影が楽しめます。



フードコート併設型農作物直売所です。JA埼玉ひびきのが運営する農産物の直売所です。地元の新鮮な農産物が並び、入口にはあまり見慣れない「いちじく」が並んでいました。「武蔵野うどんきやんち」元イタリアンシェフ考案のこだわりの武蔵野うどん。国産豚肉や深谷ねぎを使用した肉汁うどんのほか季節の厳選素材を添えた特別メニューを提供しています。「Grill's Farnis」ランチが素晴らしいです。肉厚ステーキな手ごねハンバーグが楽しめる「Grill's Farnis」もアグリパーク



「このはなパーク上里」は、「美味しい」が集まる上里町の中心的な観光拠点となり年間約100万人が集まる拠点となっています。その隣は、上里SAです。すべて「一般道からSAへ入る階段」があり、階段を上ると「上里SA」に入れます。上信越道と北関東道から関越道に合流し東京方面に向かう最初のSAというところもあって、「上里地帯」以外にも、群馬、長野、新潟、栃木などのグルメやお土産が楽しめるエリアで美味しいを楽しむことも出来ます。

「健康工房上里いろいろ庵」
2021年に上里カンターレの姉妹店としてオープンしたお店です。健康と自然の味をテーマに、風味豊かな蕎麦や国産大豆100%の手づくり豆腐、こだわりの自家製酪を使用したとろ焼き等のお店が並んでいます。

「中央軒煎餅上里工場直売店」
創業100年の伝統ある老舗のおせんべい屋さんで種類もとても豊富で、定番品から変わり種のおせんべい、また工場直売店ならではの限定品やお買い得な商品が並んでいます。

「上里いちじく&トマト園」
多品種のいちじく狩りが楽しめる観光農園で、1月から5月下旬までいちじく・トマトの収穫体験ができることができます。ハウスの中は、大粒のいちじくが赤く色づいて甘い香りが漂っています。

(共栄大学客員教授 海老原武)

